

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500127
事業所名	グループホーム エム・ケア名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	事業所の「毎月15日の開放日」は、いきいき支援センターにポスターを掲示したり、案内を近隣にポストインする等の周知活動を行い、地域住民が気軽に交流できる場として活かされている。「介護相談」の看板を掲げた事により、複数住民からの介護相談が寄せられそれに応じる等、地域密着型としての活動を根差している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	二か月毎に行う推進会議には、民生委員、市功労者、いきいき支援センター職員、家族、利用者の参加があり、運営状況をパワーポイントを使って詳しく伝えている。会議には看取りケアや予防接種に関する事を議題に挙げ、関心と理解を深めている。また同日に昼食会や防災訓練を行う事で利用者との関わりや支援の実情を共有し、更なる協働関係に発展している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	労働局からの要請を受け、55歳以上の就労体験実習を行った。認知症サロンの依頼があり、今後に向け検討している。区主催の会議や研修、講習会の参加も積極的に行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族の窓口を施設長に一本化する事で、より綿密に意見や要望を聴き取ることができ、利用者それぞれのニーズに合った支援に繋げている。個人のプライバシーに配慮し、家族向けの通信は作成せず、日頃の様子や些細な変化があればその都度電話や面会時に直接伝える事で、より一層の信頼関係に発展している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。
	② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。
	② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。
	② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。
	② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。
	③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	×	×	○	○	○	○			